



わたしの学校 ぼくの学校

伊佐に学ぼう！

伊佐小学校

伊佐小学校では、地域学習を「伊佐学」と名付けています。1・2年生は地域のお年寄りから昔の遊びを学んだり、幼稚園・保育園の園児に遊びや給食の様子を紹介したり、交流活動を行いました。また、3年生はごぼう掘りの体験を通して土地利用の方法や農家の皆さんの思いを学びました。この他に6年生の伊佐中学校での模擬登校体験や伊佐小学校の歴史を知る学習など、「伊佐に学ぼう！」を合い言葉に全学年ですすめています。



楽しさいっぱい、グリーンコース！

淳美小学校



淳美小学校には、30年前に保護者や地域の皆さんが作られた『グリーンコース』（アスレチック）があります。長年の使用で老朽化してきたため、昨年度から保護者や地域の皆さんが再生作業をしてくださり、このたび完成しました。

改修されたり新設されたりした遊具で、毎日子どもたちが楽しく遊んでいます。学校の裏山にあるので、行き来するだけで体力の向上にもつながります。このグリーンコースは、淳美小学校と地域の宝です。



美祿市教委から発信します



「できるか・できないか」ではない。
「やるか・やらないか」である。

～「美祿市ふるさと交流大使」久保 修（くぼ しゅう）さんに学ぶ～

1月26日(木)～28日(土)に、市内4校の小・中学校において、「美祿市ふるさと交流大使」の久保修さんによる切り絵講座が開催されました。



久保さんから切り方のコツを教わった子どもたちでしたが、はじめはどこからどのように切っているのか戸惑い、友だち

と話し合いながら取り組んでいました。しかし、一旦コツをつかむと、子どもたちは、切り絵のおもしろさに魅了され、時間が経つのも忘れるほど夢中になっていました。

中には難易度の高い絵に挑戦し、諦めかけそうになる子どももいましたが、その都度、久保さんが「自分の選んだ絵だよ。困ったら助けてあげるから。最後まで諦めずにやり遂げよう。やり遂げた時の喜

びは大きいよ。」と声をかけておられました。その後、どの子ども最後までやり遂げ、達成感から「ふ～、できたあ。」といった言葉が聞かれたとともに、満足そうな笑顔が多く見られました。



「夢をもち、好きなことを一生懸命続けることで様々な人とのつながりが生まれ、自分の人生が豊かになります。できるか・できないかではなく、やるか・やらないかですよ。」久保さんの講話での言葉です。一度きりの人生。常に向上心をもって様々なことに挑戦し、自分の可能性を広げていきたいものです。



図書館だより

美祿図書館より臨時休館のお知らせ

年度末図書点検及びシステム更新のため臨時休館をします。

利用者の皆さんにはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお祈りします。

●休館期間 3月7日月～3月23日(水)

長期休館に伴い美祿図書館では、2月23日(水)から3月6日(木)までの期間につきまして、図書のみ貸出冊数を10冊まで増冊します。休館中の返却につきましては、美祿図書館玄関に返却BOXが出ていますので、ご利用ください。

また、期間中はインターネットによる蔵書検索・予約等は使用できません。

絵本読み聞かせ講座開催のお知らせ

子どもの読書活動を推進するために、小畑乃武子先生を迎えて、絵本読み聞かせ講座を開催します。お子さんと一緒に、また、読み聞かせに興味のある人など参加をお待ちしています。

日時 3月5日(土) 14時～15時30分

場所 美祿図書館 2階 視聴覚室

講師 小畑乃武子先生(下関市)



美祿図書館新刊図書案内

おせっかい屋のお鈴さん	堀川 アサコ / 著
温泉妖精	黒名 ひろみ / 著
すしそばてんぷら	藤野 千夜 / 著
ブロッケンの悪魔	南アルプス山岳救助隊K-9 樋口 明雄 / 著
メアリー・スーを殺して [幻夢コレクション]	乙一 / 著
やがて海へと届く	彩瀬 まる / 著
焼野まで	村田 喜代子 / 著
ラメルノエリキサ	渡辺 優 / 著
Y. M. G. A. 暴動有資格者	三羽 省吾 / 著
赤毛のアンナ	真保 裕一 / 著
異郷の友人	上田 岳弘 / 著

3月の休館日

3月7日月、14日月、20日(水)、21日(木)、28日月

美祿図書館のみ3月7日月～23日(水)

市内の図書館の本等は、各図書館窓口で貸出申込されると、取り寄せて借りることができます。

問合せ先 美祿図書館 ☎0837(52)0213

美東図書館 ☎08396(2)5555

秋芳図書館 ☎0837(62)1925

市内の文化財紹介40

綾木八幡宮のナタオレノキ(2本)

(美東町綾木・市指定天然記念物 平成4年指定)



ナタオレノキの名前は、モクセイ科シマモクセイの別名で、本州(福井県・山口県など)・四国・九州・八丈島・小笠原・台湾・朝鮮半島などの暖帯・亜熱帯に分布している樹木です。山口県では、干珠島(下関市)・天井ヶ岳(長門市)・野戸呂(萩市)などに見られますが、県内での植生は希であり、このナタオレノキは貴重で珍しいものです。

木の材質は硬く、木を切るはずのナタの方が折れてしまうことからこの名前が付けられ、器具の柄などに使われています。花は10月中旬に咲き、白い花を付けます。

綾木八幡宮の2本のナタオレノキは社叢の中にあり、1本は幹の目通り周囲が1.55メートル、樹高約13メートル以上と推測される巨木です。もう1本は根本から3本に分かれているため、ナタオレノキは4本立っているように見えます。

なお、この綾木八幡宮の社叢は、コジイ、クロガネモチ、ウラジロガシ、シイモチ、アラカシ、タブノキなどのコジイ群落となっています。

問合せ先 文化財保護課 ☎0837(53)0189

編集後記

例年以上に気温の波が激しいですね。朝のニュースを見たとき三寒四温というワードが出ていました。意味は寒い日が3日ほど続き、そのあと4日ほど温暖な日が続く。そしてまた寒くなるという7日周期で繰り返される現象で、とても当てはまる表現でした。例年以上に体調管理が大変です。

3月号の広報作成時点では本来なら花粉の季節で、マスクを着用しているのですが、マスクをしなくても鼻がムズムズせず楽なので、このまま3月も花粉が少ない方が嬉しいのですが。。。☹